

もみじの家をご支援くださっている皆様

寄付金募集のお知らせ

平素より、大変お世話になっております。

多くの方に支えていただき、もみじの家は開設から5年目を迎えております。

おかげさまで、毎年の赤字は徐々に小さくなっていましたが、今年に入り新型コロナウイルスの感染拡大により2か月間の完全閉鎖に加え、予約のキャンセルなども相次ぎました。利用人数に比例して収入が決まる仕組みとなっているため、今年度は大幅な減収となることは避けられません。

支援者の皆様におかれましては、さらなるご支援を検討していただきたく、お便りをお送りいたしました。また、お知り合いの方々に、もみじの家の現状についてお伝えいただくことで、ご支援の輪が広がることにつながれば幸いに存じます。ご寄付の方法につきましては、2019年度収支報告とともに、同封したニュースレターの最終ページに記載しておりますので、ご参照ください。

不躰なお願いとなり、大変申し訳ありません。

なお、誠に勝手ながら、毎年開催してきました「ご寄付に感謝する集い」は、新型コロナウイルス感染予防の観点から、今年度は休止とさせていただきますので、何卒ご了承ください。

末筆ながら、皆様のご健勝を祈念いたします。

もみじの家ハウスマネージャー内多勝康 拝

もみじの家

ニュースレター



2020年11月発行

No.18

医療型短期入所開設のためのガイドブック公開!

様々な医療的ケアを行いながら自宅で生活する人が増え続ける中、数日間、施設のスタッフにケアを託すことができる医療型短期入所の必要性が高まっています。しかし、事業所の数は全国的に不足し、医療的ケア児と家族たちの要望に十分応えきれていないのが実情です。

その現状を把握することを目的に「医療型短期入所に関する実態調査」(厚生労働省令和元年度障害者総合福祉推進事業)が行われ、もみじの家も調査に参加しました。そして、その成果物として作成されたのが、「あなたの街にも医療型ショートステイが必要です～医療的ケア児・者が安心して暮らせる社会を創るために」と題したガイドブックです。事業所開設のノウハウや提供するサービスの内容、施設の形態別の報酬額などに加え、実際に事業を立ち上げた事例紹介も盛り込まれ、具体的な情報が収集できるようになっています。

医療の専門職によるケアを安全に受けられる短期入所サービスが増えていけば、家庭で介護に追われる家族の負担をやわらげ、安心して休息をとることができます。重い病気や障害のある子どもが生まれても、医療型短期入所サービスが身近な場所で利用できれば、疲れ果ててしまう前にリフレッシュできる機会が得られ、住み慣れた地域での暮らしを維持できる可能性が広がることが期待され

ます。

もみじの家が2016年春に開設されて以来、短期入所の利用を希望する家族は増え続け、すべてのニーズを受け止めることはできなくなっています。

新型コロナウイルスの影響が出るまでは、定員を上回る予約の申込が続き、毎月20～50件は利用をお断りすることが恒常化していました。ひと時の休息すらとれず、心身の疲労を蓄積させている全国各地の家族が、医療的ケアに対応してくれるサービスを地元で利用できる日を心待ちにしています。

ガイドブックは調査を実施した三菱UFJリサーチ&コンサルティング株式会社のHPで公開され、右のQRコードから読み込むことができます。あなたの街での医療型短期入所事業所の新設のために、ぜひご活用ください。

医療型短期入所事業所 開設のためのガイドブック

あなたの街にも
医療型ショートステイ
が必要です

医療的ケア児が
安心して
暮らせる社会を
創るために



ご支援に心より感謝申し上げます

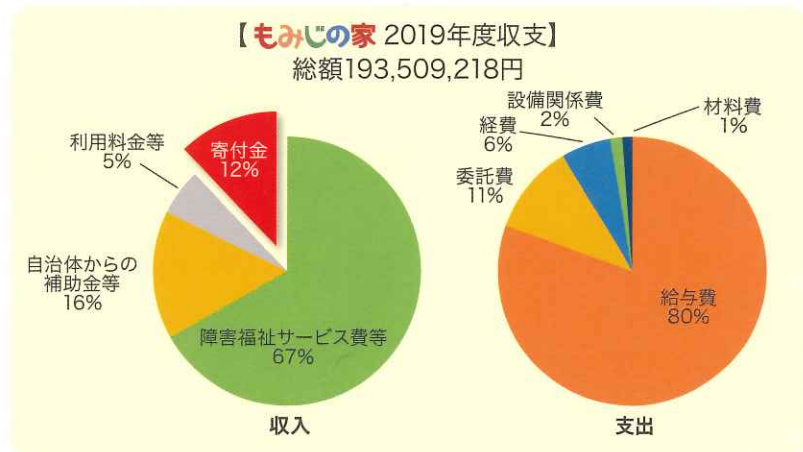
もみじの家の2019年度の収支についてご報告いたします。支出の総額は、人件費を中心に1億9350万円余り。一方、収入は、障害福祉サービス費を中心とした国の制度からの報酬が約1億3000万円、世田谷区や東京都からの補助金などで約3028万円、居室の利用料(光熱水費)として約1000万円の収入がありました。これを合計しても、運営費全体の88%までしかカバーできませんでした。

残る12%(約2321万円)は赤字となり、これを補填するため、皆様から寄せられた寄付金を活用させていただきました。様々な疾患や障害のある子どもと家族が安心してもみじの家で過ごすのは、ご厚意を寄せてくださった方々のおかげです。改めて感謝申し上げます。

今年度は、新型コロナウイルスの影響で4月中旬から約2か月間、施設を閉鎖し、6月中旬の再開後も感染予防の観点から利用者を制限せざるを得なかったため、赤字が大幅に増えることは避けられません。

皆様には、引き続き、ご支援をいただければ幸いです。

ハウスマネージャー 内多 勝康



「もみじの家」へのご寄付

※毎月の継続支援にご協力ください

▶銀行振込の場合

右上の問い合わせ先にお電話ください。
振込に必要な手続きについてご説明いたします。
※振込手数料は、ご負担願います。

■お問い合わせ

国立成育医療研究センター総務課寄付係
TEL: 03-3416-0181
mail: kifu@ncchd.go.jp

▶クレジットカードの場合

もみじの家ホームページの「ご支援・ご寄付について」
から、お手続きができます。
<https://home-from-home.jp/donation/>

- 領収書を希望される方は、お手数ですが、問い合わせ先までご連絡ください。
- 寄付金は税制上の優遇措置が受けられます。



医療型短期入所施設

もみじの家

国立研究開発法人 国立成育医療研究センター

〒157-8535 東京都世田谷区大蔵2-10-1

TEL: 03-5494-7135 FAX: 03-3416-2222

